

同時資料配布先：

学研都市記者クラブ

経済産業省記者会

2018 年 1 月 5 日

公益財団法人地球環境産業技術研究機構

平成 29 年度 ALPS 国際シンポジウム
ー長期大幅排出削減に向けてー
開催のご案内

2015 年 12 月の気候変動枠組条約の第 21 回締約国会議（COP21）においてパリ協定が合意され、2016 年 11 月に発効しました。世界の大多数の国が 2020 年以降の自国の温室効果ガス排出削減目標等を Nationally Determined Contributions (NDCs) として提出し、世界のほぼすべての国が排出削減に取り組む新たな国際枠組みができました。2017 年 11 月に開催された COP23 では、各国削減目標の評価のあり方等が議論されました。一定の前進は見られたものの、とりわけ先進国と途上国の間で意見対立が大きくなる場面も見られるなど、パリ協定の具体的なルール策定等に向けた道のりは容易ではないと考えられます。一方、2020 年までに各国が国連に提出することになっている長期低排出発展戦略の策定に向けて、2050 年以降の長期にわたる温暖化対策の議論が国内外で活発になってきています。

RITE では、経済産業省の委託事業として「地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業」（通称 ALPS: ALternative Pathways toward Sustainable development and climate stabilization）を実施しています。この研究事業では、グリーン成長に資する国際枠組み、国際戦略立案に資する研究を進めており、その中で、パリ協定の実効性を高めるためのレビュー方法の検討や、温室効果ガス排出削減を中心とする温暖化緩和策および適応策の評価、またこれらをどう組み合わせる長期の気候変動リスクに対応するか、について検討を行ってきています。更には、それらに関連したファイナンス、そして昨今の IoT の進展や、それに伴うシェアリングエコノミーなど大きな社会的な変化の可能性も含めたシナリオ分析の検討など、気候変動対応の包括的な研究を行っています。そして、地球温暖化問題研究で世界的に著名なオーストリアの国際応用システム分析研究所（IIASA: International Institute for Applied Systems Analysis）、米国の未来資源研究所（RFF: Resource for the Future）、国際エネルギー機関（IEA）をはじめ、世界の研究機関とも協力しながら研究を進めています。

このたび、様々な気候変動のリスクを認識しつつ、長期の大幅排出削減に向けた方向性を探るため、また本研究事業の成果報告会を兼ねて平成 29 年度 ALPS 国際シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、この分野で活躍している国内外の著名な専門家をお招きし、ご講演頂きます。地球温暖化を抑制して持続可能な社会を実現するために必要な政策について、幅広い方々が最新の研究成果をもとに深く考えられる機会にしたいと考えますので多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

1. 開催概要

主 催： 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構（RITE）

日 時： 平成30年2月9日（金） 10：00－17：10

会 場： 虎ノ門ヒルズフォーラム ホールB

（東京都港区虎ノ門 1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー 4階）

プログラム：

- ・ 講演 国際応用システム分析研究所 副所長 ネボーシャ・ナキシエノビッチ
大幅排出削減と持続的発展のための「炭素法」
- ・ 講演 国立研究開発法人 国立環境研究所 地球環境研究センター
気候変動リスク評価研究室長 江守 正多
地球規模気候リスクとパリ協定の目標についての考察
- ・ 講演 国際エネルギー機関（IEA）エネルギー需要・アウトルック担当部長
ラウラ・コズィ
世界的なエネルギー転換の状況：IEA 世界エネルギー展望からの教訓
- ・ 講演 コロラド大学 教授 ロジャー・ピルキー
未来の乱用
- ・ 講演 ドイツ国際安全保障問題研究所（SWP） EU/ヨーロッパ部門長
オリバー・ゲーデン
ネットゼロエミッション：最も行動可能な温暖化目標
- ・ 講演 パリ・サクレイ大学 教授 パスカル・ダ・コスタ
2050年に向けたヨーロッパ及びフランスの電源構成の脱炭素化に関する技術
経済分析
- ・ 講演 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ
グループリーダー 秋元圭吾
長期 CO2 ゼロエミッションに向けての気候変動リスク対応戦略

（詳細は別紙をご参照ください。）

2. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方も、事前に参加申込み下さいますようお願いいたします。やむを得ず
当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

本件に関するお問合せ先

- ・ シンポジウム内容・参加登録に関するお問合せ先

システム研究グループ

TEL：0774-75-2304 FAX：0774-75-2317

- ・ 広報に関するお問い合わせ先

企画調査グループ 広報・産業連携チーム 中村、辰巳

TEL：0774-75-2301 FAX：0774-2-75-2314 E-mail: pub_rite@rite.or.jp

平成 29 年度 ALPS 国際シンポジウム

長期大幅排出削減に向けて

FY2017 ALPS International Symposium

—Toward long term, deep emissions reductions—

平成 30 年 2 月 9 日(金) 10:00 ~ 17:10 (受付開始 9:30)

虎ノ門ヒルズフォーラム ホール B

(東京都港区虎ノ門 1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー 4 階)

同時通訳あり
参加料無料

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構(RITE) 共催：経済産業省



会場ご案内

虎ノ門ヒルズフォーラム ホール B

〒105-6305 東京都港区虎ノ門 1-23-3
虎ノ門ヒルズ森タワー 4 階

- 東京メトロ 銀座線「虎ノ門駅」1 番出口 徒歩約 5 分
- 東京メトロ 日比谷線「神谷町駅」3 番出口 徒歩約 6 分
- 東京メトロ 千代田線 丸ノ内線 日比谷線
「霞ヶ関駅」A12 番出口 徒歩約 8 分
- 都営地下鉄 三田線「内幸町駅」A3 出口 徒歩約 8 分
- 銀座線 浅草線 ゆりかもめ
山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線
JR「新橋駅」烏森口出口 徒歩約 11 分

お申し込み・お問い合わせ

公益財団法人
地球環境産業技術研究機構
システム研究グループ

〒619-0292 京都府木津川市木津川台 9-2
TEL : 0774-75-2304 FAX : 0774-75-2317
<http://www.rite.or.jp/system/>

<http://www.rite.or.jp>

ごあいさつ

2015 年 12 月の気候変動枠組条約の第 21 回締約国会議 (COP21) においてパリ協定が合意され、2016 年 11 月に発効しました。世界の大多数の国が 2020 年以降の自国の温室効果ガス排出削減目標等を Nationally Determined Contributions (NDCs) として提出し、世界のほぼすべての国が排出削減に取り組む新たな国際枠組みができました。2017 年 11 月に開催された COP23 では、各国削減目標の評価のあり方等が議論されました。一定の前進は見られたものの、とりわけ先進国と途上国の間で意見対立が大きくなる場面も見られるなど、パリ協定の具体的なルール策定等に向けた道のりは容易ではないと考えられます。一方、2020 年までに各国が国連に提出することになっている長期低排出発展戦略の策定に向けて、2050 年以降の長期にわたる温暖化対策の議論が国内外で活発になってきています。

RITE では、経済産業省の委託事業として「地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業」(通称 ALPS: Alternative Pathways toward Sustainable development and climate stabilization) を実施しています。この研究事業では、グリーン成長に資する国際枠組み、国際戦略立案に資する研究を進めており、その中で、パリ協定の実効性を高めるためのレビュー方法の検討や、温室効果ガス排出削減を中心とする温暖化緩和策お

よび適応策の評価、またこれらをどう組み合わせる長期の気候変動リスクに対応するか、について検討を行ってきています。更には、それらに関連したファイナンス、そして昨今の IoT の進展や、それに伴うシェアリングエコノミーなど大きな社会的な変化の可能性も含めたシナリオ分析の検討など、気候変動対応の包括的な研究を行っています。そして、地球温暖化問題研究で世界的に著名なオーストリアの国際応用システム分析研究所 (IIASA: International Institute for Applied Systems Analysis)、米国の未来資源研究所 (RFF: Resource for the Future)、国際エネルギー機関 (IEA) をはじめ、世界の研究機関とも協力しながら研究を進めています。

このたび、様々な気候変動のリスクを認識しつつ、長期の大幅排出削減に向けた方向性を探るため、また本研究事業の成果報告会を兼ねて平成 29 年度 ALPS 国際シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、この分野で活躍している国内外の著名な専門家をお招きし、ご講演頂きます。地球温暖化を抑制して持続可能な社会を実現するために必要な政策について、幅広い方々が最新の研究成果をもとに深く考えられる機会にしたいと考えますので多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

(公財)地球環境産業技術研究機構 山地 憲治

長期大幅排出削減に向けて

平成 30 年 2 月 9 日(金) 10:00 ~ 17:10 (受付開始 9:30)

虎ノ門ヒルズフォーラム ホール B (東京都港区虎ノ門 1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー 4 階)

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 (RITE) 共催：経済産業省

同時通訳あり
参加料無料

プログラム

10:00 開会挨拶 茅 陽一 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 理事長

10:10 来賓挨拶 経済産業省 産業技術環境局

10:15 講演 ネボーシャ・ナキシェノビッチ 国際応用システム分析研究所 副所長

大幅排出削減と持続的発展のための「炭素法」

Nebojsa Nakicenovic, Deputy Director General/Deputy Chief Executive Officer, International Institute for Applied Systems Analysis (IIASA)

“Carbon Law” for deep emissions reductions and sustainable development

11:00 講演 江守 正多 国立研究開発法人 国立環境研究所 地球環境研究センター 気候変動リスク評価研究室長

地球規模気候リスクとパリ協定の目標についての考察

Seita Emori, Chief, Climate Risk Assessment Research Section, Center for Global Environmental Research, National Institute for Environmental Studies

Some thoughts on global climate risks and the Paris goals

11:45 休憩

13:00 講演 ラウラ・コズィ 国際エネルギー機関 (IEA) エネルギー需要・アウトLOOK担当部長

世界的なエネルギー転換の状況：IEA 世界エネルギー展望からの教訓

Laura Cozzi, Head of Division, Energy Demand Outlook, International Energy Agency

The state of the global energy transition: lessons from the IEA's World Energy Outlook

13:45 講演 ロジャー・ピルキー コロラド大学 教授

未来の乱用

Roger Pielke Jr., Professor, University of Colorado

Misusing the Future

14:30 講演 オリバー・ゲーデン ドイツ国際安全保障問題研究所 (SWP) EU/ ヨーロッパ部門長

ネットゼロエミッション：最も行動可能な温暖化目標

Oliver Geden, Head of EU/Europe Division, German Institute for International and Security Affairs, SWP

Net-Zero Emissions: the most actionable climate target

15:15 休憩

15:35 講演 パスカル・ダ・コスタ パリ・サクレイ大学 教授

2050 年に向けたヨーロッパ及びフランスの電源構成の脱炭素化に関する技術経済分析

Pascal Da Costa Ecole CentraleSupélec - University Paris Saclay

Techno-economic analysis of the decarbonisation of power mix in Europe - and particularly in France - by 2050

16:20 講演 秋元 圭吾 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ グループリーダー

長期 CO₂ ゼロエミッションに向けての気候変動リスク対応戦略

Keigo Akimoto, Group Leader of Systems Analysis Group, RITE

Climate change response strategy toward long-term zero CO₂ emissions

17:05 閉会挨拶 本庄 孝志 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 専務理事

参加ご案内

2 月 2 日(金)までに同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAX でお申し込みください。当日は FAX された申込書を受付にご提出ください。

※定員(200 名)になり次第、締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

ご提供いただいた個人情報は、今後当機構の関係するイベント等のご案内のために利用させていただくことがあります。ご不要の方は、その旨をお知らせください。

平成29年度 ALPS国際シンポジウム 長期大幅排出削減に向けて

FAX参加申込書

この用紙に必要事項をご記入の上、**2月2日(金)**までにFAXでお申込みください。
 申込書の受領をもって受付完了とさせていただきます。
 当日はこのFAX申込書を受付にご提出ください。

日 時：平成30年2月9日（金）10:00～17:10（受付開始9:30）
場 所：虎ノ門ヒルズフォーラム ホールB（東京都港区虎ノ門1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー4階）
アクセス方法：東京メトロ「虎ノ門駅」1番出口 徒歩約5分／東京メトロ「神谷町駅」3番出口 徒歩約6分／
東京メトロ「霞ヶ関駅」A12出口 徒歩約8分／都営地下鉄「内幸町駅」A3出口 徒歩約8分／
JR「新橋駅」島森口 徒歩約11分

ご 氏 名	フリガナ		E-mail アドレス	
ご 所 属 機 関	フリガナ			
ご 所 属 部 署			お 役 職	
所 在 地 (ご 住 所)	(〒)		電 話 番 号	

※出席希望者多数の場合は先着順となりますので、あらかじめご了承ください。

※申込用紙一枚につき、お一人のお申込でお願いします。(複数名ご出席の場合は、お手数ですが本用紙のコピーをお使いください。)

※ご提供いただいた個人情報は、参加者名簿の作成、RITEのイベント情報等のご案内のために利用させていただくことがあります。

シンポジウム当日は会場受付まで本申込書をお持ちください。

お申込み・
お問合せ先

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構(RITE) システム研究グループ
TEL 0774-75-2304 FAX 0774-75-2317 www.rite.or.jp

通信欄

☐ 今回の国際シンポジウムには参加しないが、所属・住所変更あり
・ご氏名
・ご所属機関
・ご所属部署・役職
・ご住所 〒
☐ 今後、案内状の送付は不要 ☐ その他()